

3 . 豊かな大阪をめざした政策推進

2025年日本国際博覧会の推進

大阪の成長戦略の実行

大阪・関西の経済発展に大きな効果が得られ、大阪の魅力を全世界に発信できる絶好の機会である2025年日本国際博覧会の成功に向けた取組みを推進

国際博覧会推進事業

(3億2,500万円)

- 会場建設費の本市負担金
 - ・ 会場建設に係る基本設計等
- 夢洲地区埋立工事
- パビリオン等地元出展の検討・調査
- 市内機運醸成や2020年ドバイ万博での大阪のPR活動等



会場イメージ図(資料提供:経済産業省)

2019年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025
登録申請書提出(12月)	登録申請書承認目標(6月)	ドバイ万博 10月～4月 (参加招請の本格的実施) 基本計画策定(秋頃) 地元出展基本構想(素案)とりまとめ ドバイ万博での大阪PR 地元出展基本構想策定(3月頃)			各国のパビリオン建設	開催 4/13～10/13

【関連事業】



花博開催30周年記念事業

(2,300万円)

- 国際花と緑の博覧会記念協会や2025年日本国際博覧会協会とも連携を図りながら、2025年日本国際博覧会のPRや機運醸成にもつなげるイベントを開催

夢洲第2期区域のまちづくりの実現に向けた調査

(800万円)

- 2025年日本国際博覧会後を見据えた夢洲第2期区域のまちづくりに必要な調査を実施

夢洲におけるインフラ整備

大阪の成長戦略の実行

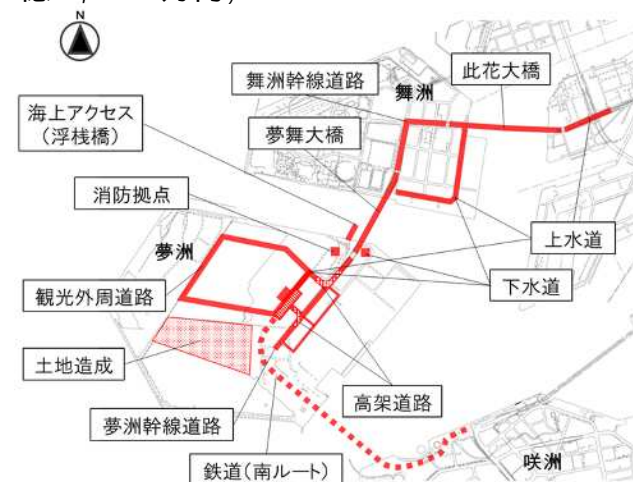
2025年日本国際博覧会を契機として、夢洲における国際観光拠点形成
(国際物流拠点の機能強化を含む)に向けたインフラ整備を推進

夢洲地区の土地造成・基盤整備事業

(75億6,000万円)

(うち、一般会計:20億3,200万円)

- 土地造成 ...国際博覧会会場の土地造成(30ha)
- 基盤整備 ...観光外周道路、高架道路の詳細設計等
上下水道の詳細設計、整備工事
- 鉄道アクセス ...南ルート(北港テクノポート線)の詳細設計、
整備工事
- 道路アクセス ...此花大橋、舞洲幹線道路、夢舞大橋、
夢洲幹線道路の拡幅に係る詳細設計等
- ⑨ ➤ 海上アクセス ...小型旅客船利用を想定した浮棧橋の詳細設計



箇所図

⑨ 夢洲物流車両の交通円滑化に向けた検討調査 (1,400万円)

- 夢洲地区における物流関連車両の円滑な交通を確保するための対策を検討

⑨ 夢洲消防拠点整備事業 (3,100万円)

- 夢洲地区における消防拠点施設整備のための調査・設計

IRを含む国際観光拠点の形成

大阪の成長戦略の実行

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型IRの実現に向けて、府市が一体となって取組みを推進

府市が一体となった大阪へのIR誘致

IRを含む国際観光拠点の形成に向けた立地推進事業（1億1,400万円）

- IRの事業化に向けた取組み
 - ・ 事業者公募・選定
 - ・ 区域整備計画の作成
- IR誘致に向けた理解促進
 - ・ 市民向けセミナーの開催
 - ・ 多様な広報ツールを活用した情報発信
 - ・ 公聴会の開催
- ギャンブル等依存症対策の推進
 - ・ ギャンブル等依存症に係る実態把握調査
 - ・ 若年層向け依存症予防啓発の実施

別途、負担金収入調整額 8,900万円があるため予算額は2,500万円



※1 国のスケジュールは想定 ※2 時期は事業者の提案による

総合的な依存症対策の推進

依存症対策支援事業

(800万円)

- アルコール・薬物・ギャンブル等の3依存症者に対する相談支援等の実施



スマートシティ戦略の推進

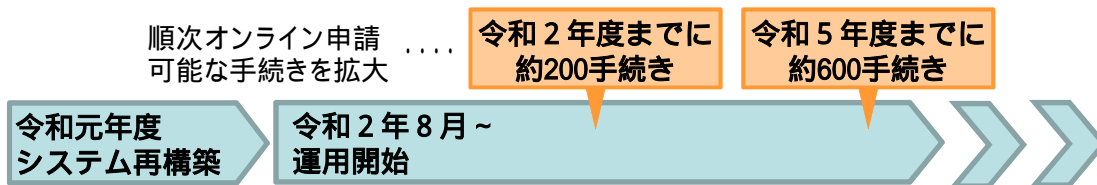
大阪の成長戦略の実行

市民の生活の質(QoL)の向上や都市機能の強化をめざし、
先端技術を活用したスマートシティを実現

スマートシティ戦略推進事業 (1億2,600万円)

行政オンラインシステムの構築・運用

- ・ 役所に行くことなく、いつでも自宅などからインターネットで行政手続きができるようになる行政オンラインシステムを構築し、行政手続きのオンライン化を推進



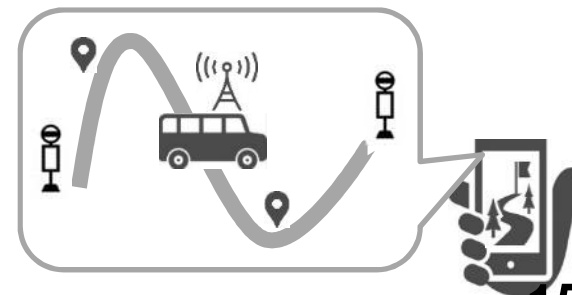
令和2年度にオンラインで
申請可能になる予定の主な手続き

- ・ 住民票の写しの交付請求
- ・ こども医療費助成資格認定の申請
- ・ 要介護・要支援認定の申請



新▶ スマートモビリティ関連の調査

- ・ 大阪市に適用可能性のあるスマートモビリティの手段(MaaS・自動運転・カーシェア等)及び技術(AI・IoT・データ分析等)について調査を実施
- ・ 地域公共交通におけるデマンド型交通の導入可能性について調査を実施



都市魅力の向上

大阪の成長戦略の実行

世界が憧れる都市魅力を創造し、世界中から人、モノ、投資などを呼び込む「強い大阪」に向けた取組みを推進

重点エリア等のマネジメント ～主な取組み～

大阪駅周辺地区

うめきた2期区域のまちづくり (96億8,200万円)【後掲】

中之島地区

大阪中之島美術館の整備事業 (50億 800万円)

- 令和3年度中の開館に向けた建設工事の推進や、コレクションの魅力向上

中之島通の歩行者空間整備 (4億5,400万円)

- 「こども本の森 中之島」や「中央公会堂」など文化施設が集積するエリアの交通安全性・回遊性などを向上させるため、快適な歩行者空間として再編整備

御堂筋周辺地区

御堂筋の道路空間再編 (4億7,700万円)

- 千日前通～道頓堀川区間における側道歩行者空間化の整備

大阪城・大手前・森之宮地区

大阪城エリア観光拠点化事業 (3億7,400万円)

- 令和4年春の施設開館に向けた豊臣石垣公開事業(遺構調査及び整備工事)等を実施



大阪中之島美術館の完成イメージ



中之島通の歩行者空間整備イメージ



豊臣石垣公開施設イメージ

都市魅力の向上

大阪の成長戦略の実行

難波周辺地区

なんば駅周辺における空間再編推進事業 (4,800万円)

- 官民連携により、車中心の空間から人中心の空間へと再編(交通安全性の検証など)

天王寺・阿倍野地区

天王寺公園・動物園の魅力向上 (3億8,700万円)

- 天王寺動物園101計画の推進
 - ・地方独立行政法人の設立(令和3年4月予定)に向けた準備
 - ・ペンギン・アシカ舎リニューアルの実施設計、ふれあい家畜・小動物舎新築工事の実施など

市立美術館の魅力向上 (1億5,500万円)【後掲】



ふれあい家畜・小動物舎
リニューアルイメージ

⑨

新今宮エリアブランド向上事業 (900万円)

- 民間事業者と連携し、大阪ミナミの新たな玄関口として「新今宮エリア」のエリアブランドの確立に向けたプロモーション活動を実施

築港・ベイエリア地区

⑨

超大型クルーズ客船の寄港に対応した岸壁改良 (3億7,500万円)

- 世界最大級(22万総トン級)のクルーズ客船の係留に対応した天保山岸壁の改良
- 大阪港への初入港が令和3年と見込まれ、地域や関係機関と連携しながら賑わいの創出を図り、ベイエリアの更なる集客観光拠点化を推進



天保山岸壁に寄港する
大型クルーズ客船

都市魅力の向上

大阪の成長戦略の実行

水と光の魅力向上

「大阪・光の饗宴」の開催

(1億8,500万円)

- OSAKA光のルネサンス、御堂筋イルミネーションを核に、民間主催のエリアプログラムと一体的にプロモーションを展開



地域資源を活かした大阪の魅力発信

新

食のブランディング推進事業

(1,000万円)

- 大阪の食のブランディングを推進する起爆剤とするため、世界的な食のMICEである「アジアベストレストラン50」を大阪市に誘致・開催

新

観光バスを使った周遊ニーズの実証実験

(300万円)

- 大阪府、堺市と連携し、大阪市と堺市の歴史・文化的資源をつなぐ観光バスを使った周遊ニーズの実証実験を実施



観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出 (2億5,600万円)

- 船場地区において、無電柱化や周辺景観と調和した道路整備などを実施

外国人等観光客受入環境の整備

新

観光案内機能の強化

(5,800万円)

- 来阪外国人観光客のニーズに対応し、周遊性の向上等を図るため、観光情報や災害時の情報発信等、多言語に対応した多機能型の観光案内板を整備



スポーツ振興・文化施策の展開

大阪の成長戦略の実行

ゴールデン・スポーツイヤーズを好機と捉えたスポーツ振興施策を展開、
「文化自由都市、大阪」の実現をめざした大阪にふさわしい文化施策を推進

スポーツ振興施策の展開

東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ機運醸成事業 (4,000万円)

- 東京2020オリンピック聖火リレー、大会期間中のコミュニティライブサイトの実施や関連イベントの開催を通じたスポーツ機運の醸成

舞洲プロジェクトの実施 (1,800万円)

- 大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪と連携し、大阪商工会議所の協力のもと、スポーツ振興・スポーツ産業創出をめざした取組みを実施

文化施策の展開

大阪中之島美術館の整備事業 (50億 800万円)【再掲】

市立美術館の魅力向上 (1億5,500万円)

- 美術館機能強化と利用者サービス向上のため、大規模改修の基本設計に着手

博物館施設運営費交付金等 (25億8,500万円)

- 地方独立行政法人による美術館・自然史博物館・東洋陶磁美術館・科学館・大阪歴史博物館の運営など

循環共生型社会の形成

大阪の成長戦略の実行

G20大阪サミットで確認された地球規模の環境課題を踏まえ、
気候変動対策や循環共生型社会の形成などに取り組み、環境と成長の好循環を推進

⑨ 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業 (4,000万円)

- 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画の策定
 - ・「SDGs」の達成をめざして、あらゆるステークホルダーとの連携強化を図り、プラスチックごみの海洋流出抑制の取組みを推進するため、実行計画を策定
- 新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの取組推進
 - ・プラスチックの資源循環推進に向け、ペットボトルを行政回収から地域コミュニティ回収への移行を推進するため、効率的な回収に必要な圧縮・梱包等の設備を新設する事業者への補助を実施
- SDGsの取組みに関する国際協力推進
 - ・海洋プラスチックごみの削減など大阪のSDGsの取組みを発信するためのビジュアルツールを制作し、国際会議の場等での発信を通じて地球規模での環境問題の理解を深め、SDGsへの取組みを促進

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」
推進事業を核とし、



国の「SDGs未来都市」及び
「自治体SDGsモデル事業」
の選定をめざす